

入選句

蒼天へ己れ貫く今年竹

富山県朝日町

藤田 孝

夜釣舟残して海の夜明けかな

新潟県新潟市

馬場 綾子

桑の実の熟れてやさしき波の音

新潟県長岡市

地引 永安

妻と共大愚へ続く秋の径

福岡県太宰府市

中村 糟魄

糸柳 触れたる風の 行方かな

富山県朝日町

藤田 孝

玫瑰や寺多くして漁師町

新潟県長岡市

小林 徳太郎

田植梓陽を返しつつ遠ざかる

新潟県燕市

山田 充

荒波を眼下に冬の出雲崎

東京都世田谷区

伊藤 誠三

大鍋に寒鱈投げ込む魚市場

新潟県長岡市

石田 富男

墓一墓葛の花に埋もれけり

新潟県長岡市

地引 永安

纜に来て覗きみる春かもめ

富山県朝日町

藤田 孝

良寛の像に親しき四十雀

神奈川県横浜市

齋川玲奈

くり返しくり返し波日脚伸ぶ

新潟県長岡市

松井広宇

夕日丘船影はるか海猫の鳴く

新潟県長岡市

林 美子

芭蕉園木々の芽吹きの色となる

富山県朝日町

藤田 孝

夕暮れの番屋に烏瓜の花

新潟県新潟市

馬場綾子

風のまま夢のふくらむ紙ふうせん

富山県朝日町

藤田 孝

誰が彫りし良寛像の慈眼澄む

長野県上田市

加村維麻

投げ上る妻のかけ声稲架木がけ

新潟県長岡市

石田富男

ひとにぎりの幸せありてふきのとう

富山県朝日町

藤田 孝

妻入りのつづく街並夏燕

新潟県長岡市

丸山マキ子

蝌蚪覗き見る子等も又蝌蚪の如

富山県朝日町

藤田 孝

海の風腹一杯の鯉のぼり

新潟県長岡市

羽賀正利

ミンミンの北国街道鳴き尽くす

新潟県長岡市

地引永安

借景の佐渡の島山朱鷺築立つ

新潟県新潟市

馬場綾子

あるはずの佐渡に向きおり夏霞

新潟県長岡市

小林徳太郎

出雲崎曲がる坂道風薫る

新潟県長岡市

山井敏夫

遠足の黄色い帽子良寛堂

宮城県大崎市

鈴木勝也

妻入りの街道歩む小春かな

東京都世田谷区

伊藤誠三

忌の札を確かめて行く夏燕

新潟県長岡市

小間貴夫

芭蕉句碑たぐねて歩く秋の旅

神奈川県南足柄市

田代孝子

梅雨晴五合庵より佐渡望む

新潟県三条市

星野三興

風花や波立ち上り立ち上り

新潟県長岡市

松井広宇

吹き抜ける妻入り家並若菜風

新潟県長岡市

篠田政衛

良寛さん子らと語らう秋の海

新潟県長岡市

金子博文

朝もやの水平線にときの鳥

新潟県長岡市

戸田有花

良寛書般若心経涼しかり

大阪府島本町

奥田友子

手毬系解けて残る夏木立

千葉県柏市

三好美穂子

はまなすやひよっこり角よりお坊さん

新潟県長岡市

長谷川昌枝

生臭き獄門跡に草の息

新潟県長岡市

安達光男

天領の館を灯しゐる黄菊

茨城県常陸太田市

成井恵子

人去りて萩のこぼるる館跡

新潟県長岡市

石田益枝